

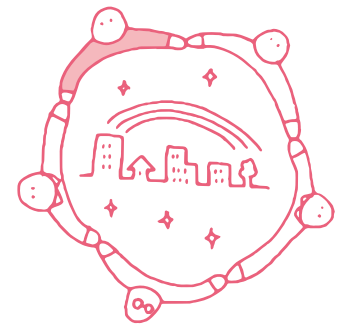
おわりに

平成27年度 認知症支援ボランティア養成事業(愛知県委託事業)では、“認知症とともに幸せに生きる～地域での支援 事例検討会”として、認知症・軽度認知障害当事者及びその家族、地域住民、介護専門職、行政・社会福祉協議会・地域包括担当者、医療従事者、企業関係者、教育関係者・研究者・学生、NPO関係者等、多様な参加を得て、認知症の地域支援のあり方を話し合いました。このパンフレットは3回の研修会で使用したテキストと、参加者の声です。

今年度は、“どのような地域をめざすのか”という理念を確認しあい、先進事例から学びました。認知症支援に携わる人が、地域住民に認知症の知識を伝達するのではなく、どのような地域支援が望ましいのかを対話する機会はこれまであまり例はありませんでした。多様な参加者を得て対話をすることで、多くの気づきがあり、それぞれの立ち位置は異なりながらも、共通の頂をめざしていることを確認することができました。

地域には、多くの支援が生まれ、活動し、その輪が広がりつつあります。支援の活動の輪をさらに広げ、つなげていくとともに、情報共有のあり方を検討していくことも今後の課題です。認知症の人のみならず、全ての人が、できる限り住み慣れた地域のよい環境で自分らしく暮らし続けることができる社会のあり方を、地域での対話・協働を通じて、少しずつ形にしていけることが求められています。

- 第一回／2016年 1月11日(祝) …… 基本講座：認知症についての基礎知識
～ 認知症の人が参加しやすい社会とは？
- 第二回／2月7日(日) …… 応用講座：認知症の方へのボランティア支援
～ 今すぐ、その場で、出来ることを実行してみる
- 第三回／3月6日(日) …… 実践に向けた講座：実体験を踏まえた今後の取組
～ 互恵社会の共生のネットワークをつなげていく



認知症とともに幸せに生きる

— 認知症の人も、支援する人も幸せになる社会のあり方をいっしょに考えませんか？

2016年3月30日発行

編集・発行 国立長寿医療研究センター
認知症支援ボランティア養成事業(愛知県委託事業)

©禁無断転載 本書の著作権は国立長寿医療研究センターに属する

編集:(有)編集企画室 群 / デザイン・イラスト:design anone / 印刷:安藤印刷株式会社